

水の郷 ニュース

柳川総合保健福祉センター
「水の郷」
「水の郷くらぶ」
柳川市上宮永町 6-3 ☎ 75-6200
FAX75-6210

- 開館時間 午前9時～午後9時(温泉は、午前10時～午後8時30分まで) 入場は午後8時まで。図書館分室は午前10時～午後6時。すこやかルームは午前10時～午後9時)
- 1月の休館日 7日、15日、21日、28日。年末年始は12月28日～1月4日を休館(南風は1月2日、3日に臨時営業)



1月の水の郷シネマ
あなたへ

◆日時 12日(土)、午前10時30分、午後1時30分、午後7時の3回
◆料金 前売り800円、当日1000円 ※当日券は販売中止もあり。回数券は6枚で5000円。1年間使えます。前売り券、回数券の払い戻し不可

年明けは家族や友人と一緒に、柳川の温泉でゆっくりしませんか 南風は1月2日と3日に臨時営業



柳川温泉「南風」イベント 日本舞踊 泉流 泉徳弓社中



水の郷 ホール

1月の主な催し

◆ダンススポーツ蒲池ダンスパーティー 20日(日)、午後1時30分

1月2日(水)と3日(木)の午前10時から午後5時30分(入場は午後5時まで)は、水の郷内の柳川温泉「南風」を臨時営業します。2日は南風特製タオルをプレゼント。
◆入場料 一般(中学生以上)400円、65歳以上の人及び障害者350円、4歳以上小学生以下200円、3歳以下無料



はつはる「初春を舞う」

日本舞踊「泉徳弓社中」の皆さんが「初春を舞う」と題して日本舞踊を披露します。華やかな踊りをお楽しみください。

◆日時 1月20日(日)、午後1時～
◆料金 観覧無料(ただし温泉入場料は必要)

～、参加費1000円、見学無料
【問】ダンススポーツ蒲池の渋谷さん ☎ 73・1712

ヤング川柳大会の入賞者が決定 北原さんと坂井さんが最優秀賞

第18回ヤング川柳大会の入選者表彰が12月1日にあめんぼセンターでありました。小学生の部では、「水がいてみんなの気もちつながった」と詠んだ矢ヶ部小2年の北原璃弥哉くん、中高生の部では「冷めてても母の肉じゃが温かい」と詠んだ昭代中3年の坂井寧々さんが、それぞれ最優秀賞に輝きました。入賞作品は作品集にして各図書館に置いています。

1月の無料映画会

1月12日(土)、午前11時～=名画劇場「釣りバカ日誌スペシャル」(106分)、午後3時～=子ども映画「ちびまるこちゃんスペシャル」(50分)

メガネをかけたら

くすのきしげのり作、たるといしまこ絵(小学館)



メガネをかけなくてはいけなくなった女の子が、周りの目を気にしながら学校へ行くお話。読み終わった後に、ほのほのと温かい気持ちにさせてくれる絵本です。

おすすすめ新着図書

知識ゼロからの 塩麹・しょうゆ麹入門 高橋 香葉 著(幻冬舎)



和食にも洋食にもスプーン1杯入れるだけで、おいしさ栄養をぐんとアップさせる麹。塩麹やしょうゆ麹を使って、家庭で簡単に作れるレシピを豊富な写真やイラストを使って紹介します。

さりげない気づかいができる人できない人 渋谷 昌三 著(青春出版社)



自然に相手との距離を縮めたり、好印象を残す「さりげない気づかい」のヒントを紹介。たった一言で相手と打ちとけるコツや、職場で評価が上がるコツの振舞いなど、目からうろこの情報が満載です。

ほんげんぎょう

柳川百選まち歩き

第45回

市民の皆さんが大切にしたいもの、誇れるものを応募のなかから「柳川百選」として選びました。このコーナーでは、シリーズで紹介していきます。郷土の素晴らしさを再発見しませんか。



1月になると、市内各地でほんげんぎょうが行われます。ほんげんぎょうは、竹で作った高さ6mから13mほどのやぐらにわらや正月飾りなどを組み、火を付けて無病息災と五穀豊穡を願う伝統行事です。燃え上がる炎で暖をとったり、残り火で焼いたもちや団子を食べたりすると病気にならないといわれています。

全国では同じような風習を「左義長」「どんと焼き」などと呼んでいます。南筑後で呼ばれるほんげんぎょうの名前の由来は、法華経や僧の修行の炎修行といわれていますが、はつきりとは分かっていません。これらの風習は、平安時代に中国から伝えられ、鎌倉時代に武家に広がった後、庶民の風習として定着しました。今では大人が中心となって行っている地域が多いほ



ほんげんぎょうの残り火で焼いたもちなどは、昔も今も子どもたちの楽しみです

んげんぎょうですが、昔は子どもが中心でした。子どもたちは、集落内の各家を回ってやぐらで使う材料を集め、やぐらを作っていました。

かつては、市内の各集落で行われていたほんげんぎょうも、伝統行事に対する意識の変化や、わらが手に入りにくくなったことなどから、今では実施する集落が数えられるほどに減少。その一方で、伝統文化を子どもたちに伝えようと力を入れているところもあります。

今年1月20日に行われる両開地区の「ほんげんぎょう祭り」は、同地区の各行政区が一堂に橋本町の炭鉱跡地に集まり、6つのやぐらを立てて毎年盛大に開催しています。「地域をあげて新年の伝統行事を伝えていふんですよ」と両開地区で行政区長を務める山田茂さん。その言葉通り、同祭りでは、両開小学校の児童が昔ながらのモグラ打ちやロック漕いね節の踊りを披露します。同祭り実行委員長の竹下圭輔さんは「子どもたちがさらに次の世代に、文化を伝えてくれればうれいすね」と思いを語りました。



ほんげんぎょう祭りで両開地区の子どもたちが披露する昔ながらのモグラ打ち

「柳川百選」は市企画課で配布。市のホームページでもダウンロード可。問い合わせは、同課(☎77・8423)へ。